

# 第2期総合戦略事前評価 取りまとめシート

## 【R3実績】

## 【R4計画】

### 【ご意見募集】

- 本資料は、「総合戦略」のKPIごとに、第三者評価委員からの評価と意見を記載しています。
- 【資料1】と合わせてご参照ください。
- 「パブリックコメント記入用紙」にご意見等をご記入の上、自立改革推進本部までご提出ください。(郵便・FAX・電子メール・持参)

日南町

# 【資料の見方】

■「総合戦略」のKPIごとに、第三者評価委員からの評価と意見を記載しています。  
 ■各項目をご一読いただき、「パブリックコメント記入用紙」にご意見等を記入の上、自立改革推進本部までご提出ください。(郵便・FAX・電子メール・持参)

## 日南町総合戦略事前評価取りまとめシート【R2実績】【R3計画】

【基本目標1.しごとをつくり、安心して働けるまちづくり】

1	CSR活動を通じた町の施策との連携						
KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
5社	5社	6社				11社	6社

項目名と、計画期間5年の実績推移を記載しています。

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の評価	A評価 (8人)	①すぐに結果がでるものではない。目的を持ち、サステナブルな活動を行うべき。 ②多くの企業と連携ができた。 ③幼少期から「森林教育」に取り組むことは、山や川といった自然を将来にわたって大切に育むことの意識向上につながる。こういった取り組みも持続可能なまちづくりにつながると思う。
	B評価 (0人)	
	C評価 (4人)	①町外へのパフォーマンスばかり目立ち日南町内で現実に行き起きていることを理解せず進んでいる様を感じる。緊急事態宣言が発出されていた時期に大阪から人を呼んだことは評価できない。 ②簡単に関連会社、関係人口等と言っても駄目だと思う。この町で取り組むメリットのあることが大切だと思う。 ③コロナで、活動が制限されたためやむを得ない。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

事業実績について、委員の評価と意見を記載しています。

	今後の方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を踏まえた今後の事業展開について	A評価 (3人)	①日南町のフォロワーの多いSNSと結び付け情報発信を行い、関係(連)企業を増やしていくことは良いこと。仕事(雇用)に繋がるイベントがあればよいのでは。 ②町のHPやSNSなどを活用した情報発信は効果的だと思う。
	B評価 (2人)	①まず、日南町で起きていることを職員がしっかり現場で学び、将来に必要なことを見極めてからタイアップ企業に提案すべき。 ②関係というスタンスでよいのか。問題は、関係のない人や会社が日南町を選ぶような行動が大切。
	C評価 (7人)	①目標に変化があっても良いが、人脈や活動を積み重ねることが、企業側にとっても日南町にとっても大切な事で、ひいてはCSRを通じCSVへと変わって行く機会を得ることに繋がる。
	D評価 (0人)	
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

事業計画について、委員の評価と意見を記載しています。

## 【本シートについて】

### ■事業の評価(本シート上段)

・令和3年度

の事業結果について、評価委員各位の評価(A~C)及び意見を記載しています。

### ■実績等を踏まえた今後の事業展開について(本シート下段)

・各事業の今後の展開について、評価委員各位の方向性(A~D)及び意見を記載しています。

【基本目標 1.しごとをつくり、安心して働けるまちづくり】

1	CSR活動を通じた町の施策との連携
---	-------------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
5社	5社	6社				11社	6社

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (8人)	①すぐに結果が出るものではない。目的を持ち、サステナブルな活動を行うべき。 ②多くの企業と連携ができた。 ③幼少期から「森林教育」に取り組むことは、山や川といった自然を将来にわたって大切に育むことの意識向上につながる。こういった取り組みも持続可能なまちづくりにつながると思う。
	B評価 (0人)	
	C評価 (4人)	①町外へのパフォーマンスばかり目立ち日南町内で現実に起きていることを理解せず進めているように感じる。緊急事態宣言が発出されていた時期に大阪から人を呼んだことは評価できない。 ②簡単に関連会社、関係人口等と言っても駄目だと思う。この町で取り組むメリットのあることが大切だと思う。 ③コロナで、活動が制限されたためやむを得ない。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (3人)	①日南町のフォロワーの多いSNSと結び付け情報発信を行い、関係(連)企業を増やしていくことは良いこと。仕事(雇用)に繋がるイベントがあればよいのでは。 ②町のHPやSNSなどを活用した情報発信は効果的だと思う。
	B評価 (2人)	①まず、日南町で起きていることを職員がしっかり現場で学び、将来に必要なことを見極めてからタイアップ企業に提案すべき。 ②関係というスタンスでよいのか。問題は、関係のない人や会社が日南町を選ぶような行動が大切。
	C評価 (7人)	①目標に変化があっても良いが、人脈や活動を積み重ねることが、企業側にとっても日南町にとっても大切な事で、ひいてはCSRを通じCSVへと変わって行く機会を得ることに繋る。
	D評価 (0人)	
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標1.しごとをつくり、安心して働けるまちづくり】

2	高付加価値木材の販売量
---	-------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
27,000m <sup>3</sup>	0m <sup>3</sup>	980m <sup>3</sup>				980m <sup>3</sup>	▲26,020m <sup>3</sup>

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (0人)	
	B評価 (3人)	①KPI=27,000m <sup>3</sup> の根拠が不明。
	C評価 (9人)	①世界情勢の影響により木材需要はさらに高まると思うが、高付加価値木材の生産能力をどうやって高めるかが、ポイントになると思う。また、国内のみならず海外需要はあるのか？ ②この事業に関係している企業の現状を詳しく教えていただきたい。 ③良くわからない。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (1人)	①日本製ということで価値(信頼)が高いと聞きます。他社との差別化とアウトバウンドマーケティングに頑張してほしい。
	B評価 (3人)	①現状を踏まえ今後のことを検討すべき。 ②生産体制の確立は早期に検討・対応すべき。増産に向けた課題は、仕入れ・製造・販売のどの過程にあるのか？
	C評価 (6人)	①町の果たす役割がよくわからない。 ②ウッドショックの影響が大きい印象をもっているが、それ以外に想定される課題はあるのか。 ③世界情勢を見ながらにはなるが、継続してほしい。 ④コロナの影響と業界事情の変化があるが、努力が必要。
	D評価 (0人)	
	評価なし (3人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標1.しごとをつくり、安心して働けるまちづくり】

3	農地の適切な保全
---	----------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
800ha	681ha	577.9ha				577.9ha	▲222.1ha

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (4人)	
	B評価 (2人)	①コロナ禍で、地域内での話し合いが進まなかったのが現状。どこまでの農地を営農する(していく)農地かを地域で決めて、担い手を育てる必要あり。
	C評価 (6人)	①農地保全は大切、次の担い手が確保できればよいことだが働き手の減少が今後も続くことが予想されており、担い手がないのであればコスパが悪いのではないかと。 ②適切な農地保全を計画しても人手不足かと思う。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (2人)	
	B評価 (1人)	①日南町だからできる取り組みを作れば、新規農業者(担い手)が増えると思う。色々な案を出し頑張ってほしい。
	C評価 (7人)	①多里地域をスタートした「まるっと」の取り組みが昨年度他の地域でもスタートした。今後も別の地域でも進めていく。 ②個別事業の予算額と執行額が乖離が大きい。予算を減らすことでなく、活性化施策を探掘してみては。
	D評価 (0人)	
	評価なし (3人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標1.しごとをつくり、安心して働けるまちづくり】

4	集約化による適切な森林保全
---	---------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
7件	5件	0件				5件	▲2件

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (2人)	①町有林を生かした施策を進めていくためにも、町への寄付を促す方法を検討すべき。
	B評価 (3人)	①難しいが、重要な課題なので、引き続き取り組んでほしい。 ②集約化に必要な境界を明確に進めることが重要。(地籍調査の進捗率35%を早急に上げなければ境界不明のため集約が困難となる。)
	C評価 (7人)	①最近になって、山の土地の所有権があることを知り驚いた。そういう人も多いのでは。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (1人)	
	B評価 (4人)	①災害防止の観点からも、より積極的に取り組む必要がある。寄付以外の取り組み状況はどうか。
	C評価 (6人)	①R4計画案に賛成。条件を変えて取り組むとあるので、目標件数は少ないが、是非モデル的に進めてほしい。 ②森林保全の先進地となるような取り組み方法はないか。 ③所有者が必ずしも、町に寄付する具体的な行動を知らないのではないか。
	D評価 (0人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標1.しごとをつくり、安心して働けるまちづくり】

5	新規起業者数/事業承継者数
---	---------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
15社	2社	3社				5社	▲10社

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (4人)	①補助金の利用が無かったことへの検討状況はどうか。それによっては、内容の見直しが必要となるのでは。 ②3件とも起業のようだが、事業承継についてはどんな状況なのか(まだ、危機的な状況ではない?)
	B評価 (1人)	①新規企業者の住居のサポートも併せて行うことができれば、起業者の増加につながると思う。また、長い期間を設けて設けて新規事業者が永住できるような仕組み作りができないものか。
	C評価 (6人)	①利用がなかった点から現状では判断できないとした。 ②まずは、起業をしようと思う人材の育成及び確保が必要と思う。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (1人)	①田舎で事業を始めるのは大変なこと、起業支援は必要。定住につなげるため、住家、娯楽、立地などと結び付けた施策が必要。
	B評価 (4人)	①後継者不足に悩む事業者も多い。商工会にも相談窓口はあるが、さらにきめ細やかなアドバイスが出来る専門スタッフを配置するなど一歩踏み込んだ対策が必要ではないか。後継者不足の問題の方が重要ではないか。
	C評価 (6人)	①とても良い制度なので今後も継続してほしい。 ②新規起業については、良好。事業承継への取り組み状況の開示をしてほしい。 ③町及び商工会が事業支援することにより、起業しやすくなると思う。また、日南町に限らず地方で起業した若者の講演会の開催など起業のきっかけ作りになるのでは。また、こういった取り組みを広くPRしていくことは県外在住者で起業をしている人も注目してくれると思う。
	D評価 (0人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。



【基本目標 1.しごとをつくり、安心して働けるまちづくり】

6	高齢者の就業割合
---	----------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
50.0%	30.1%	32.7%				32.7%	▲17.3%

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (1人)	
	B評価 (4人)	①始まったばかりで、高齢者の方への周知が不足していたのではないかと。 ②町内企業の求める人材雇用条件と高齢者の条件意識に大きな乖離があるのでは。雇用される側の説明会等の開催方法を検討してもらいたい。 ③お仕事バンクの仕組みは、高齢者のマッチングに有効なのか？。スキルの高い高齢者に限らず、就業意欲の高い高齢者が働くことができる場合は必要だが、そもそも働く意欲のない高齢者にも働いて欲しいのかどうかによって事業の戦略が変わってくると思う。現状はどうか。
	C評価 (7人)	①事業所の再雇用(勤務延長)制度の導入を進めてもらいたい。 ②就業率(就業者数)を高めることは、健康寿命の延伸にもつながると思う。引き続き、町内事業者との交流会などのマッチングの取り組みを継続してほしい。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を踏まえた 今後の事業展開について	A評価 (1人)	①事業所の再雇用(勤務延長)制度が進んでいるが、高齢者が働きやすい労働環境づくりが必要。誰かと一緒にリハビリ感覚で作業ができ、少しでも収入につながれば高齢者の生きがいに繋がるのでは。
	B評価 (4人)	①労働意欲が高いのに、マッチングが進まない理由が何かあるのか。交流会の参加状況を知りたい。よりスピード感ある取り組みが必要。 ②高齢者のマッチングがゼロなので、見直しが必要なのは。 ③マッチング件数が3件であったのは良かった。高齢者に限らず、対象を広げてマッチングしてはどうか。
	C評価 (6人)	①企業側としても、慢性的な人で不足で少しでも働いていただける人のニーズはとても多い。労働時間の融通だけではなく、仕事内容についても高齢者に無理のない業務を用意されている事などを周知していく必要がある。 ②シルバー人材センターなどの拡大等で、就業増を行ってはどうか。 ③具体的な改善策が浮かばないが、交流会の開催など継続した取り組みをお願いしたい。
	D評価 (0人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標1.しごとをつくり、安心して働けるまちづくり】

7	外国人技能実習制度の活用
---	--------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
11人	0人	0人				0人	▲11人

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の評価	A評価 (0人)	
	B評価 (2人)	①コロナによってやむを得ない。コロナ後に期待。
	C評価 (9人)	①町内の事業所でも積極的に外国人技能実習生を迎えているところがある。町指定の管理団体という条件をなくすことで、企業においても受け入れやすくなるのでは。事業所の負担軽減に補助金の拡充が必要では。 ②コロナの状況を見ながらではあるが、徐々に動きはできつつある。 ③コロナ禍の影響もあり、今の制度が十分に機能しなかったと思う。コロナの状況を見ながら再開の判断をしてほしい。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を踏まえた今後の事業展開について	A評価 (1人)	
	B評価 (5人)	①これから益々ニーズは拡大するが、コロナ禍の影響もあり、人材は集まりにくくなっている。時代に合った制度の改善が必要では。
	C評価 (2人)	①外国人実習生は、文化や言葉の壁があるものの総じて優秀な人材が多いと聞く。受け入れ体制をしっかり整備した上で、積極的に対応すべき。 ②コロナ禍の影響もあり今の制度が十分に機能しなかったのではと思う。 ③日南町においても労働力不足がある以上、ニーズはあると思う。継続したニーズ調査に併せて幅広い情報発信が必要。
	D評価 (2人)	①R3中止とあるので。
	評価なし (3人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標1.しごとをつくり、安心して働けるまちづくり】

8	道の駅(客数)
---	---------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
200,000人	127,618人	139,555人				139,555人	▲60,445人

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (2人)	①コロナの影響があるなか、大幅な減少なく良好。
	B評価 (2人)	①具体的にどんなことを実施されたのかわからない。
	C評価 (8人)	①販売品の見直しがされ、リピーターを得やすくなった。SNSをほぼ毎日更新されており努力されていることがうかがえる。継続してほしい。 ②町外向けの対策は良かったが、町内(町民)向けの施策は満足できなかった。 ③定期的なSNSの発信は集客に大きく寄与していると思う。また、コロナ前に比べ売り上げを大きく落とさなかったのは、スタッフの創意工夫によるものと評価できる。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (4人)	①若い世代から人気カフェチェーン店があればいいとの声を聞く。気軽に行け、くつろげ、PC作業もできるスペースがあればいいと思う。(軽食販売・コワーキングスペース・プライバシーが守られる場所の確保など)若者向けの商品を増やすと客層が広がるのでは。ローソン等と共同で宅配サービスも検討しては。 ②日南町ならではのイベントの開催を求められているのでは。子供たちの遊べるスペースを充実させることで、家族連れの顧客が増えるのでは。米子市などをターゲットに日南町で休日を1日過ごす家族連れを増やすことにつなげてほしい。 ③来場者の方が楽しんでSNS発信できるような”映えスポット”を意識的に作るのも面白いのでは。SNSの活用について、10代、20代の意見はとても重要です。 ④人が集まる設備の増設をしてみてもいい。人数のみでなく顧客単価を上げる仕組みをも必要。
	B評価 (4人)	①PRも必要だが、町内の産物を集める集荷をスタートさせて道の駅の充実を図るべき。 ②レストランの時間制限を解消すべきと思う。簡単な飲酒を可能にすることを検討してほしい。日南産の野菜等が思っていたほどない。(手数料が高くて生産者が持ち込まないのではと耳にすることがあるが、原因がどこにあるのか?)
	C評価 (3人)	
	D評価 (0人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標2.日南町への移住・定住を促進させる】

9	活用できる空き家の確保
---	-------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
18件	5件	9件				14件	▲4件

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (2人)	①人口減を踏まえると、点(空き家のみ)ではなく面・エリアで戦略を立てたほうが良いと思うが現状はどうなのか。
	B評価 (3人)	①企画課内に相談員を配置したとあるが、来客の多い土・日の道の駅で空き家のリストとリフォーム対応業者(町の改修事業や県のとっとり住まいる支援事業)を紹介(外部委託)すれば、空き家活用は進むのでは。 ②空き家の件数が少なくても、修繕の必要がなくきれいな空き家を望まれると思う。
	C評価 (6人)	①空き家の確保のみでなく、需要状況はどうなのか。 ②自治会やまちづくり協議会とも情報共有して、まずは空き家登録の確保が必要だと思う。そのうえで、一定基準以上の建物をHPに掲載するなど魅力ある空き家の情報発信が必要と思う。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業展開 について	A評価 (2人)	①一軒でもよいので理想の古民家づくりを行ってみては。DIYをしたい人には、未改修物件でも活用されるのでは。外装写真だけでなく、内装や周囲の状況なども情報源としてほしい。 ②空き家の他、賃貸マンション、アパート等の充実が移住・定住に必要な要件だと思う。
	B評価 (6人)	①水回りの改修は、行政が行うべきでは。 ②物件や活用支援の紹介にも力を入れてはどうか。 ③ターゲット(若年層・シニア層など)を絞った取り組みも重要。生山団地のような団地をもっと増やすべき。 ④最終目標は、人口増と空き家減少。空き家の確保も必要だが、需要と供給の状況では、内容の変更も検討すべき。
	C評価 (3人)	①山里Loadに期待しています。 ②すぐに住めない空き家であっても周りの環境が優れていれば、(蛍観賞ができるなど)、補助金を活用してリノベーションを行い空き家活用の実績をつくり、このような成功事例を所有者に周知していけば登録数も増えると思う。
	D評価 (0人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標2.日南町への移住・定住を促進させる】

10	社会増減のプラス推移
----	------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
10人	1人	▲40人				▲39人	▲49人

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の評価	A評価 (1人)	
	B評価 (3人)	①移住定住の専門的な、相談窓口の体制の構築が必要。 ②転出理由は、「就職」が多いとあるが、働ける場の確保が急務。
	C評価 (7人)	①子供連れをターゲットにするのは、転校や手続きのことを思うと難しいのでは。若い世代で、町外から医療・福祉関係に従事するため町内の賃貸住宅に入居されるが、大半は1、2年で町外に移住される。町外にでられる共通する理由があるのでは。介護をきっかけにUターンを考えている人もあるのでは。 ②人口の増減は、様々な要因があるので空き家・定住補助金が効果的なのか不明。就職による転出が多いがそれに対する具体策はあるのか。 ③結果は40名の減となったが、転入者83名は評価できる。特にIターン47名はこれまでの様々な取り組みの成果と思う。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を踏まえた今後の事業展開について	A評価 (2人)	①住家だけでなく、仕事や娯楽、立地などと結びつけた施策が必要では。インターネットでの情報収集が基本なので、町(関連団体)のHPでの情報発信に力を入れていくとよいと思う。
	B評価 (6人)	①統計を見るとコロナ禍で社会増(I・Uターン)が多かったのは都市部の通勤圏内とはっきりしている。このような状況下で移住でプラスを目指すのは危険である。転出を減らさないとまずい。 ②地元の情報をしっかり伝え、本当に日南町へ来て欲しいという気持ちが伝わるのが重要。 ③町と集落との連携をより強化し、集落全体で移住者のフォローをすることが必要。 ④転出を食い止めることは重要だが、それ以上に転入増加の施策に注力すべき。(特に若者)。移住者のSNSを活用した情報発信は転入者の増加には効果的と思う。東京から地方への移住希望者が37.3%いるというテレビ番組をみた。様々な取り組みをしている自治体、団体(海士町副業協同組合)がある。まずは、全国の自治体の成功事例を参考にしてみては。
	C評価 (2人)	
	D評価 (0人)	
	評価なし (3人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標2.日南町への移住・定住を促進させる】

11	民泊施設の確保
----	---------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
4件	1件	0件				1件	▲3件

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (1人)	①町内の宿泊施設が非常に少ないと感じている。
	B評価 (5人)	①成果が見られない。他の事業との連携を考えてはどうか。(ワーケーションや民泊のサブスクのサービスなど)町内で起業、近隣の宿泊客の増加にはあまり期待できないので、全国的な動向を見て何か活用できるものがあればと思う。
	C評価 (5人)	①農泊を続け、日南町の良さが伝わる仕組みを作っていく。 ②コロナ禍が収束してくれば、インバウンドに期待できる。空き家対策と併せ、今の空き家を民泊用にリノベーションできないか。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業展開に ついて	A評価 (1人)	①コワーキングスペースを確保した古民家一棟貸しはどうか。定住は難しくても、シェア別荘としての活用も検討してみてはどうか。
	B評価 (5人)	
	C評価 (4人)	①ターゲットを絞って(ライダーや釣り客など)集客するのも面白いと思う。また、利用者が快適に過ごせるようNET回線(Wi-Fi)の設備は必須。
	D評価 (1人)	①移住定住に効果があるとは思えない。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標2.日南町への移住・定住を促進させる】

12	ふるさと納税寄付額
----	-----------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
100,000千円	26,832千円	38,508千円				38,508千円	▲61,492千円

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (5人)	①企業版ふるさと納税をさらに活用すべき ②第三者評価委員会の提言を反映されている。
	B評価 (1人)	
	C評価 (5人)	①ポータルサイトの増設や大山ブランド会での取り組みなどは、対前年比増につながったと思う。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業展開に ついて	A評価 (6人)	①ふるさと納税に関心が広がっているなか、実際に寄付をしたくてもやり方が分からない人も多くいるのでは。返礼品に古民家宿泊や農泊を追加してはどうか。里帰りの際利用したい人もおられると思う。 ②企業の立場になるが、引き続きマッチング支援に努力します。 ③返礼品を受け取った方に、SNS発信をしていただくことで、新たなインセンティブを設けるなどの取り組みの検討をお願いしたい。
	B評価 (2人)	
	C評価 (2人)	
	D評価 (0人)	
	評価なし (3人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標2.日南町への移住・定住を促進させる】

13	UIターン者向け企業マッチング
----	-----------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
50人	14人	14人				28人	▲22人

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (2人)	
	B評価 (2人)	
	C評価 (7人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (1人)	
	B評価 (5人)	①町内のどの企業がマッチングを求めているのかをもっと明確化する必要がある。 ②若い世代のUIターンは、就労面の支援がかなり重要。 ③移住相談に来られる人は、移住への明確な目的を持って相談に来られていると思う。町・町内企業が本気でサポートするので移住してくださいと、相談員が本気で説明しなければいけない。
	C評価 (3人)	①オンラインを活用した情報発信も効果的ではないだろうか。
	D評価 (0人)	
	評価なし (4人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。



【基本目標3.結婚・出産・子育ての希望を実現させる】

14	総合診療医の配置
----	----------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
1人	0人	0人				0人	▲1人

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の評価	A評価 (2人)	①総合診療医は、小児に限らず、多専門分野への窓口となる。総合診療専攻医の受け入れを継続し、総合診療医の常勤につなげてほしい。
	B評価 (1人)	①小児科医の常勤医体制は、家族で移住するための絶対条件。
	C評価 (9人)	
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を踏まえた今後の事業展開について	A評価 (1人)	①総合診療専攻医の受け入れを継続(特色ある研修の場になるよう)され、総合診療医の常勤につなげてほしい。
	B評価 (4人)	①医療費や保険料の優遇も重要だが、医療の安全面の方が求められていると感じている。
		②鳥大の医学部生、研修医が鳥大(医学部付属病院)を出てから地元に戻るか、他県に行く人が多いようだが、他県に出られる理由が何かあるのかそのあたりを鳥取県とも連携して考えていくのが良いのでは。 ③遠隔医療の検討も進めると良いのでは。
	C評価 (6人)	①既にデジタル田園都市国家構想交付金を活用した遠隔医療に取り組んでいる自治体がある。そういった、先進地を現地視察をするなど積極的に取り組んでいただきたい。
		②高齢化率50%以上の町なのに、整形外科の外来が週1回は大问题。 ③日南町のみではなく、近隣の市町村との連携が必要。
D評価 (0人)		
評価なし (2人)		

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標3.結婚・出産・子育ての希望を実現させる】

15	標準学力状況調査における学力向上
----	------------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
9学年	2学年	4学年				4学年	▲5学年

	評価	【R2事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (5人)	①i-checkにより現状の課題を明確化できたこと、その課題に対して対策したことが有効だったと思う。
	B評価 (3人)	
	C評価 (4人)	①現在の学校の評価、県内のランク等をしっかり調査することが必要と思うが、できているのか。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (2人)	
	B評価 (3人)	①現状を読んでいると小学校の先生の方の苦勞が感じられる。
	C評価 (5人)	①児童生徒が自ら勉強したいと思うことが学力向上の第一歩と思う。例えば、日南町出身者の現役大学生や事業家として頑張っている若者からメッセージを送ってもらうなどし、勉強することで子供たちの未来の夢がさらに広がるような取り組みをお願いしたい。
	D評価 (0人)	
	評価なし (3人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標3.結婚・出産・子育ての希望を実現させる】

16	ふるさと教育の推進
----	-----------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
30人	14人	31人				31人	1人

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (3人)	
	B評価 (3人)	
	C評価 (5人)	①高校3年生の全員が第一志望の進路に進めたことはこの取り組みの一番の成果だと思う。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事 業展開に ついて	A評価 (2人)	①あらかじめ企業提示しそこから選ばせるのではなく、子供たちが自主的にやりたいこと(小・中学生のドリームチャレンジ)が可能となるような取り組み(教育推進)が必要では。
	B評価 (4人)	
	C評価 (4人)	
	D評価 (1人)	①KPIの設定は必要ないと思う。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標3.結婚・出産・子育ての希望を実現させる】

17	婚活事業の推進
----	---------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
7組	3組	0組				3組	▲4組

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (2人)	
	B評価 (3人)	
	C評価 (6人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事 業展開に ついて	A評価 (1人)	
	B評価 (4人)	①プライバシーが守られているのか疑問。 ②社会情勢を踏まえると今後の成果を期待できないので、職員の業務を減らすためにも中止しても良いのでは。
	C評価 (5人)	
	D評価 (0人)	
	評価なし (3人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標3.結婚・出産・子育ての希望を実現させる】

18	子育て応援企業宣言(仮称)の推進
----	------------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
170社	0社	0社				0社	▲170社

	評価	【R2事業実績】 評価に対する意見
事業の評価	A評価 (1人)	
	B評価 (5人)	①目標30社に対して0社なのはなぜですか。
	C評価 (6人)	①子育て応援企業宣言してもらうことは、経営者のみならず企業で働く方々の意識改革にもつながると思う。 ②KPIに向けた具体策がわからない。 ③具体的に応援されているのか？
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を踏まえた今後の事業展開について	A評価 (1人)	
	B評価 (7人)	①改善策にある通り働くお母さんたちの意見を良く聞き、真に有効な改善を行ってほしい。 ②子育て世代への支援は必要であるが、コロナのなかだがスピード感ある取り組みが必要。検討中の間に町外へ移住してしまえば、基本的にUターンは難しいのではないかと。 ③子育てに具体的なメリットがあるか。子供のいる方に良いことを作ってほしい。(通学費、給食代は無料にすべきでは)
	C評価 (3人)	①子育て世代が働きやすい職場とはどういった職場なのか、理想と現実が合致しているのか？また、今の子育て世代のニーズを幅広く発信していくことは、次世代の子育て世代へのメッセージにもなると思う。 ②町が、育児休業時間が取りやすい仕組みづくりをして、その仕組みを企業に取り入れてもらい、それをPRしていくということはどうか。
	D評価 (0人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標4.安心して暮らし続けられるまちづくり】

19	町営デマンドバスのドア・ツー・ドア化
----	--------------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
5路線	0路線	0路線				0路線	▲5路線

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (1人)	
	B評価 (3人)	①最低限の交通インフラの整備は必要。
	C評価 (8人)	①高齢者のヘルパー支援が受けにくくなっており、デマンドバスのドア・ツー・ドアは高齢者にとって重要。(交通手段がなく病院に通えない、買い物が十分にできず食に困っている高齢者がおられる。) ②事業化に向けた課題の洗い出しなど継続した協議をお願いしたい。 ③誰が運営主体になっていくかが課題。フルデマンドは、枝線だけでも良いのでは。 ④担い手(供給側)は足りていますか。 ⑤ドア・ツー・ドアも可能なら必要と思うが、1時間前までの予約は本当に良い制度か疑問。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (1人)	①高齢者の病院受診・買い物(重い荷物)など生活に関わる交通手段としての町営デマンドバスの役割は大きい。是非、ドア・ツー・ドアの拡充につなげてほしい。
	B評価 (5人)	①昨年度起きた問題からも分かる様に、運転手が安心して運転できる環境が無ければフルデマンドは厳しいと思う。 ②車のない高齢者が増加する将来に向けて、重要な課題。
	C評価 (5人)	①デマンドバスの主たる利用者となる高齢者が使いやすい予約システムの構築が必要。デジタル田園都市国家構想交付金など活用できませんか？ ②関係者と協議を重ね、一定の合意形成ができたとのこと。調整が難しいと思うが大事な問題であるため、引き続き取り組んでいただきたい。
	D評価 (0人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標4.安心して暮らし続けられるまちづくり】

20	マイナンバーカードの普及
----	--------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
60.0%	20.3%	30.0%				30.0%	▲30.0%

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (4人)	
	B評価 (5人)	
	C評価 (3人)	①普及に向けてどういった支援体制をとっているのでしょうか。その支援体制や広報活動は十分でしょうか。今一度、検証をお願いします。 ②マイナンバーカードのメリットが見えないから普及しないのではないか。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (1人)	
	B評価 (5人)	①現状メリットしかないので、持たないデメリットを伝えてみては。
	C評価 (6人)	①今一つ、マイナンバーカードのメリットが理解されていないと思う。引き続き、職場や自治会などを通じてメリットを周知していく必要がある。 ②手続きの案内支援の場を増やすべき。平日に動けない人の手続きを進めることが必要。申請している人へのアンケート調査を実施してはどうか。(マイナンバーカードへの恐怖心の解消等への活動PR等、すべきことが見えてくるのでは。 ③今はあまりメリットがないが、将来はカード時代がくる、日南町だけでもカードのメリットを考える必要あり(住民票、印鑑登録などはメリットとは言えないのでは。)
	D評価 (0人)	
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標4.安心して暮らし続けられるまちづくり】

21	防災士の取得者数
----	----------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
35人	9人	7人				16人	▲19人

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (6人)	①これまでの地道な活動が効果的だったと思います。 ②広範囲にわたる町内の各地域に、まんべんなく対応できる人の配置などの体制整備が必要と感じている。早急に、防災士資格取得者を増やす取り組みが必要。
	B評価 (2人)	
	C評価 (4人)	①行政職員の方の防災に対する考えの甘さ、意識の低さが昨年の大雨時に分かった。まずは、職員の方が取得されたらどうか。 ②防災士の資格を持っているが、1度も町から招集されたことがない。この状況で、この施策は疑問。
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業展開に ついて	A評価 (2人)	
	B評価 (3人)	①防災士を増加させるメリットをはっきりさせる必要がある。
	C評価 (7人)	
	D評価 (0人)	
	評価なし (1人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。



【基本目標4.安心して暮らし続けられるまちづくり】

22	Jクレジットの販売数量
----	-------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
2,000t	658t	1,974t				2,632t	632t

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (9人)	①コーディネーターを増やしたことはJクレ増加に効果的だったと思う。これまでのコーディネーターとの連携強化や今後もコーディネーターを増やしていく取り組みをお願いしたい。 ②コーディネーターとなっている当行としても引き続き取引先へのJクレジット制度の案内及び仲介を勧めていくが、新規件数が増加しており、調印式等の開催方法について、再検討が必要ではないか。
	B評価 (0人)	
	C評価 (2人)	①計画より販売数量が多いのは良い様に思われるが、そのお金が何に使われているのかが見えないのと、計画を守ることも必要。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事 業展開に ついて	A評価 (6人)	①米子の企業経営者から日南町とJクレジットで通じつながりを持っているという話をよく聞くようになった。米子の企業にCSRとして浸透している。今後、いかにCSV、ESGと進化していけるか注目の事だと思う。 ②カーボンニュートラルや脱炭素、SDGsに興味や関心を持っている企業は多くある。県内外の企業に向け様々な媒体を活用したPRは有効的だと思う。また、日南町とJクレジット契約締結していただいた企業側からの情報発信も効果的だと思う。 ③2030年までのSDGsの目標に向けて、トン数が減っていくなかで町としての対応が必要。 ④SDGsの取り組み拡大に伴って、企業の関心度が高い。残量も残りわずかで新規取得実施の拡大をしていくべき。
	B評価 (1人)	①Jクレジットの販売目的が森林保全とリンクしていない様に感じるので、バランスよく進めないと良くない。
	C評価 (4人)	
	D評価 (0人)	
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

【基本目標4.安心して暮らし続けられるまちづくり】

23	生活習慣病対策の強化
----	------------

KPI	R2	R3	R4	R5	R6	累計	差引
80.0%	30.7%	29.9%				29.9%	▲50.1%

	評価	【R3事業実績】 評価に対する意見
事業の 評価	A評価 (3人)	
	B評価 (1人)	
	C評価 (7人)	①予約の取り方が改善できれば、集団検診の受診率も向上すると思う。
	評価なし (2人)	

【事業評価基準】「A」事業内容(取組方)がKPI達成に有効であった。「B」事業内容(取組方)がKPI達成に有効とは言えなかった。「C」現状では判断できない。

	今後の 方針	【R4事業計画】 今後の方針に関する意見
実績等を 踏まえた 今後の事業 展開に ついて	A評価 (1人)	
	B評価 (2人)	
	C評価 (6人)	①現在は、コロナ禍でもあり思うように活動できないが、コロナ収束後に向けた取り組みをお願いしたい。
	D評価 (0人)	
	評価なし (4人)	

【事業評価基準】「A」事業が効果的であったことから取組の追加などさらに発展させるべきである。(事業拡大)「B」事業内容の見直し(改善)を行うべきである。「C」特に見直しの必要がなく今後も事業を実施すべきである。「D」事業実施を中止すべきである。

◆その他

No.	全体を通しての意見
①	総合戦略は日南町の将来に重大な戦略であるので、一度の会議で評価委員会を終えるのではなく、オンライン会議なども活用して分科会⇒本会にするなど改善が必要と考える。
②	様々な局面で、町内で起きていることにもっと興味を持ってもらわないとKPIの達成は不可能と思う。
③	未達成の項目が多いので、行政職員ではこの総合戦略をどのように捉えているのかすごく疑問である。
④	デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用するなど、積極的にデジタルを活用したまちづくりに取り組んでいただきたい。そのためには、デジタル人材の育成やデジタル人材の新規採用などに注力していく必要があると思う。
⑤	【取り組み事業 6高齢者の就業割合・14総合診療医に関連】 日南病院では、「自分らしい人生を支えるプロジェクト」を立ち上げ、総合診療医にもプロジェクトメンバーに参加していただいている。「日南町をよくすること＝日南町で自分らしく生きる」ことだと考えている。加齢や病気によって諦めなければいけないが増えるなか、多専門分野との企業連携ができれば、より自分らしく生きることにつながるのではないかと考えている。日南町の医療・福祉業界でも働き手のマンパワー不足は大きな問題となっており、町全体で個人を支える仕組みが大切と思っている。
⑥	
⑦	